

歯磨剤(虫歯予防)

知っておきたい歯周病のお話 | 竹田歯科医院ブログ

無料相談&ご予約ダイヤル 0965-31-0550 [アクセスマップ](#)

当歯科医院は[熊本県八代市 デンターネットランキング](#)でも紹介されています。患者さまよりサイトの右の投稿というボタンから匿名で感想をいただけたら嬉しみにります。

[竹田歯科医院](#)のブログカテゴリー[知っておきたい歯周病のお話]の[歯磨剤(虫歯予防)]についての記事です。

こんにちは😊

今回は、**虫歯予防の歯磨き粉**についてお話します👏

虫歯予防の代表選手は、**フッ素**です!!

フッ素は『**モノフルオロリン酸ナトリウム**』『**フッ化ナトリウム**』『**フッ化スズ**』が使われています💡

日本では、市販の歯磨き粉の80%にフッ素が含まれています🌟



フッ素には、虫歯菌によって、歯の表面を溶かされた(脱灰)ところを、修復(**再石灰化**)させる作用や、**歯質を強く**し、虫歯菌が出す酸に対しての、**耐酸性を向上**させる作用があります😊

また、プラーク中の細菌の酵素作用を阻害して、酸の発生を抑える働きもあります👏

日本で認可がおりているフッ素配合歯磨き粉のフッ素濃度は、**1000ppm以下**です! 1000ppmは、歯磨き粉1

g中にフッ素が1mg含まれることとなります💡

急性中毒 吐き気・嘔吐・腹部不快感・下痢など

体重1kgあたりフッ素5mg

4歳児平均体重16.5kg
(16.5kg×5mg)

4歳児急性中毒量=83mg

フッ素による害を心配🤔される方もいらっしゃるかもしれませんが・・・フッ素の急性中毒🚫量は、**体重1kgあたりフッ素5mg**とされています!! 日本の👶4歳児の平均体重が、約16.5kgとのことですから・・・

$$16.5 \times 5 = 83\text{mg}$$

👶4歳児のだいたいの急性中毒量は83mgになります▶

仮に、当院で販売している『**バトラーデンタルケアペーストこども**』の場合🔍

内容量が50g・フッ素濃度が500ppmですから・・・

$$500\text{ppm} = 1\text{g}/\text{フッ素}0.5\text{mg}$$

$$0.5 \times 50 = 25\text{mg}$$

これ📖1本の中に、25mgのフッ素が入っていることとなります! 丸ごと食べたとしても、急性中毒量には届きません!!

丸ごと食べるなんてことは、なかなかないでしょうから😊、正しく使えば安心であることは、わかって頂けるかと思います😊

次回も、虫歯予防歯磨き粉の他の薬効成分を御紹介したいと思います😊

ポイント💡 フッ素は、再石灰化促進

歯質強化

耐酸性向上

酵素阻害作用があり、虫歯予防に効果的🌟